

大正新七五九村

山口七郎秋

七五九

七五九

相多世とてくそ 大なる
大り地とてくそ 大なる
大り地とてくそ 大なる
大り地とてくそ 大なる
大り地とてくそ 大なる
大り地とてくそ 大なる
大り地とてくそ 大なる
大り地とてくそ 大なる
大り地とてくそ 大なる
大り地とてくそ 大なる

二伸價屋とてくそ 大なる

山口七郎

七五九

相多世とつて大なる
 大の地をいふ故程とす
 其の所を極といふ程
 尸を桑柘といふ程
 哉ふかたきとす
 尸を桑柘といふ程
 其の所を極といふ程
 尸を桑柘といふ程
 哉ふかたきとす

二伸價屋とすまゝの物とす

心之極
 子まらふ

城



陶器部書

三三三

五十六